

#### A 評価委員

各種行事ごとの保護者向けのアンケートはプログラムの中で書く枠や時間を設け、項目を簡単にし、また選択方式にしてきたら全員の意見が回収（1～2分、休憩時間）され、貴重な意見として反映し、捉えることができるのではないのでしょうか。アンケート返答率アップのためには、意見を頂く側の配慮も必要かと思えます。

自己評価は、園の教育目標に従って重点項目を達成するために、具体的な行動目標を明示すると、評価時に自信を持ってAランクに○をつけられると思います。また園長先生や同僚からの面談時間を特設し、フォローしたり、評価について適格な判断を仰ぎ、来年度にむけて何が重要か、本人の中で設定できると感じます。

外部講師がいるのは、開かれた園として、幼稚園教諭の手助けをしたり、コーディネートするには、よいと思います。出来たらボランティアのような人も募集すると幼稚園のためになりそうです。

評価結果      ㊤

#### B 評価委員

折に触れ、貴園を訪問するたびに、園児たちがきちんと挨拶してくれます。そういう園児たちの明るく元気な姿に接するたびに園児中心の      教育方針に基づいて、各先生が全員で取り組んでいることを実感し、感心しています。給食も安心・安全を基本に栄養バランスを考慮した献立で園児たちに提供されている日々の努力に頭が下がります。今後も園児・保護者の信頼を得られる園運営を継続されることを期待します。

評価結果      ㊤

- 毎年、認定こども園の形態に試行錯誤の連続かと推察しますが、教育・保育の各々で園全体の共通認識を築きつつ、園児個々の実態に目を配り、具体的に取り組んでおられることを高く評価します。
- 自己評価自体を目的化することなく、きちんと行われていて、その評価を園全体で共有され、園運営・教育・保育に反映されていることも高く評価します。

#### C 評価委員

PTA 役員会や保護者の声を先生たちに伝える意見交換会のようなものがほしいと考えます。先生方も保護者に言いたいことはたくさんあるのではないかと思いますので、もっと気軽に話ができる機会があるといいと思っています。まずは、先生方の考えが役員に伝われば、保護者との間に立って、もっと違う形で理解しあえることも増えるのではないのでしょうか。また先生方の大変さや求めるものをどんな形でも、もう少し保護者に伝えてもいいと思います。保育の中で教えるのがむずかしい季節感などは、「家でこんな遊びができますよ。」等、手紙などの中で伝え、家庭をまきこむのもいいと思います。

評価結果      ㊤

- 社会全体、保育士が足りないと騒いでいる中、ふたば幼稚園の先生方は、この人数でよくやってくれていると感心します。そして、忙しい中でも、細やかな心配りが感じられます。その小さな行動の1つ1つが今の子供たちにとって大変重要で、今後もそれを代々引き継いでいってほしいと思います。また、給食のメニューの種類も、味付けもバランスもとても良いです。子供たちも食べやすく、嫌いなものも食べてみようかなという気持ちにしてくれそうです。

#### D 評価委員

たくさんの方のいろいろな行事に参加し、子どもを預ける保護者側の立場にたって見て、安心してお願いできる環境が整っていると思います。子どもたちが安全に学び、遊べるように先生方一人ひとりが徹底的に管理されているのが印象的です。また、クラスだよりがとても細かく、予定、持ち物がわかりやすい。園児の普段の姿や、園で展開されている保育内容、活動が書いてあり、どのよう

に成長しているか保護者に伝えられている。

評価結果 ㊤

- ふたば幼稚園の教育方針にあります、「7つの幼児像」に基づく教育を、先生方全員が正しく理解されております。
- 大変お忙しく、感情的になることもあるのではと思いますが、それもなく園児一人ひとりに向き合い丁寧に声かけをしてくださっていました。

E 評価委員

教室に入った時の雰囲気がとてもよく、活動中であっても元気に挨拶をしたり、やっていることを教えてくれたりしたので、活動を止めることなく、違和感なく参観できました。園児や先生も共に集中して普段から取り組んでいる様子がうかがえた。年齢に応じた教育内容で、無理なく進めていることがふたば幼稚園の子供たちが落ち着いている理由なのかなと感じます。また、各教室のトイレや手洗い場の状況を確認した。どの教室もきれいになっていて、先生方の衛生面への積極的な姿勢が見えた。

給食の試食では、七分づき米・副食に野菜をバランスよく組み合わせてあり、幼稚園児の食に対する感謝の気持ちを育てている盛り付けだと感じました。ある教室で園児が糊を落としたので拾ってあげたら、すぐさま「ありがとう」という言葉が返ってきた。ごく当たり前のことだが、先生の教育が行き届いていると思った。

評価結果 ㊤

- 認定こども園として二年がたち、幼稚園と保育園の両方をこなしていくには大変なご苦労があると思います。その中で自己評価しながら、よりよい園児教育を目指していることに大変満足している。また、「7つの幼児像」に全職員が一丸となって取り組んでいることが前年度より一層の実績を上げてきている。先代・先代も天国で喜んでいることと思う。
- 園日よりや保育参観を通して保護者との連携を図ることは、幼稚園の指導方針を理解手立てには有効です。さらに年間事業や行事については、職員の評価基準に照らし合わせて次時に生かすこともできますが、参加した園児や保護者からの意見も何らかの形で把握しておくことができると良いと思います。
- 様々な活動の中でいろいろな先生方が園児の目線で指導し、関わる姿に改めて感銘を受けました。

F 評価委員

秋季運動会～ 園児が、どの種目もまじめに取り組んでおりましたが、観客は、関係ある園児の種目には積極的に応援しておりました。観客のほぼ全員が熱心に観戦していた種目として、ふたば幼稚園の伝統的種目（年長児クラス対抗リレー、アトラクション、講師指導種目等）でした。

生活発表会～ 例年通り園児はまじめに発表されていましたが、今年は、特別元気良い明るい態度で声を張り上げて発表されたプログラムがあり、頼もしく感じました。中でもオペレッタや英会話は一人一生き生きした態度で発表され好感が持てました。又、指導されている教師・講師・職員の対応もすばらしいものがありました。大人が真剣さを発揮すれば、子どもたちも其れに応じてくれる良い例であると思いました。

評価結果 ㊤

- 長期の教育目標、計画を基本に、年度毎の重点的に取り組む目標・計画に沿って、忠実に実践されていると思います。
- 園児指導に、携わっている教師、講師、職員、保護者の協力体制が整っていると思います。
- 園児の園内での生活態度や姿勢、参観する度、元気で明るく素直な子が多いのは好感が持てます。